

8 高等学校 芸術科（音楽） 問題用紙

（6枚のうち1）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

1 あとの1～6に答えなさい。

1 次の（1）～（3）の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。それぞれの楽譜が示す楽曲名とその作曲者名を書きなさい。

(1)	
(2)	著作権保護の観点により、掲載いたしません。
(3)	

2 次の表は、発想を示す用語についてまとめたものです。表中の（1）～（6）に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

用語	読み方	意味
appassionato	アパッショナート	(1)
(2)	ブリッランテ	はなやかに
cantabile	カンタービレ	(3)
con brio	コン・ブリオ	生き生きと
espressivo	エスプレッシーヴォ	(4)
maestoso	マエストーゾ	(5)
scherzando	スケルツァンド	(6)

3 次の（1）～（6）の形式の特徴を、それぞれ書きなさい。

- (1) 有節歌曲
- (2) 通作歌曲
- (3) 連作歌曲
- (4) 一部形式
- (5) 二部形式
- (6) 三部形式

(6枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 次の(1)～(3)の語句の説明として適切なものを、下の(ア)～(カ)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(1) ミニマル・ミュージック

(2) トーン・クラスター

(3) 表現主義

- (ア) 20世紀初頭、絵画や文学を中心に起こった、独自の感情世界を主観的に表出することを主眼とした芸術運動の概念
 (イ) 19世紀末より20世紀にかけフランスを中心に、主に叙情詩の上に現れた芸術思潮
 (ウ) 簡単で短い音型を繰り返して構成される音楽
 (エ) 作曲や演奏に偶然的な要素を取り入れた音楽
 (オ) 作品ごとにつくられる12音からなる音列を基本として、無調の作品を構成する作曲法
 (カ) 2度以下の音程でぶつかり合う音を多数同時に鳴らす手法

- 5 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) ピリオド楽器とは何ですか。書きなさい。

(2) 次の①～④はどのようなものですか。それぞれ書きなさい。

- ① フラウト・トラヴェルソ
 ② リュート
 ③ ヴィオローネ
 ④ チェンバロ

(3) 次の文章は、通奏低音について説明したものです。文中の(①)～(③)に当てはまる言葉を、下の(ア)～(カ)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(①)のヨーロッパで広く行われたもので、(②)奏者、またはハープなどの撥弦楽器奏者が、与えられた低音の上に、(③)伴奏声部を完成させる方法及びその低音部を指す。

- (ア) 17～18世紀
 (イ) 19～20世紀
 (ウ) 金管楽器
 (エ) 鍵盤楽器
 (オ) 持続音を重ねて
 (カ) 即興で和音を補いながら

8 高等学校 芸術科（音楽） 問題用紙

（6枚のうち3）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

6 あとの楽譜を基に、次の【条件】に従って旋律をつくり、解答欄の五線譜に書きなさい。

【条件】

- ① フルードで演奏するための副次的な旋律とすること。
- ② 旋律に用いる音は、一点ハ音から三点ト音までとすること。
- ③ プラルトリラーを用いること。
- ④ モルデントを用いること。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 高等学校 芸術科（音楽） 問題用紙

（6枚のうち4）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(6枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽Ⅰ 内容 A 表現 (1) には、次のように示されています。

(1) 歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)から(イ)までについて理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり

(イ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

(ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴

エ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ア)から(イ)までの技能を身に付けること。

(ア) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能

(イ) 他者との調和を意識して歌う技能

(ウ) 表現形態の特徴を生かして歌う技能

教材として「南部牛追歌」を取り扱い、ア、イの(イ)、ウの(ア)を組み合わせた題材を設定することとします。また、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素として、旋律を選択することとします。次に示す生徒の状況を踏まえ、下の1・2に答えなさい。

生徒の状況	<対象年次> 1年次
	生徒はこれまでに、「ソーラン節」を歌う活動を行った。

- 1 この題材における「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準を書きなさい。

- 2 題材名を挙げて、3単位時間で扱う学習活動を書きなさい。

- 3 音楽Ⅰの創作の授業において、「きらきら星」の旋律を基に、変奏曲をつくる活動を取り入れました。次の1・2に答えなさい。

- 1 生徒は、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしています。しかし、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫することは十分ではありません。生徒が創作表現を創意工夫するためには、どのような学習の過程が効果的だと考えられますか。書きなさい。

- 2 この活動を通して、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏をする技能を身に付けることを指導します。この授業における変奏とはどのようなことですか。書きなさい。

(6枚のうち6)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 次の文章は、平成 30 年 3 月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽Ⅰ 内容の取扱い の一部を示したものです。このことに関して、下の 1・2 に答えなさい。

(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の教材については、(①) 等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、「B鑑賞」の教材については、(②) の音楽を含めて扱うようにする。

- 1 文章中の空欄 (①) ・ (②) に当てはまる語句はそれぞれ何ですか。書きなさい。
- 2 我が国や郷土の伝統音楽には、歌舞伎囃子や民謡の他にどのようなものがありますか。5つ書きなさい。

8

高等学校 芸術科（音楽） 解答用紙

（5枚のうち1）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄		
1	1	(1)	楽曲名	
			作曲者名	
		(2)	楽曲名	
			作曲者名	
		(3)	楽曲名	
			作曲者名	
	2	(1)		
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		
		(6)		
	3	(1)		
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		
		(6)		

8

高等学校 芸術科（音楽） 解答用紙

(5枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄	
1	4	(1)	
		(2)	
		(3)	
	5	(1)	
		(2)	①
			②
			③
			④
		(3)	①
			②
			③

8

高等学校 芸術科（音楽） 解答用紙

(5枚のうち3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄
1	6

8

高等学校 芸術科（音楽） 解答用紙

(5枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄	
1		
2	題材名 ()	
	時間	学習活動

※ 必要に応じて線を引いてもよい。

8

高等学校 芸術科（音楽） 解答用紙

(5枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄	
3	1		
	2		
4	1	①	
		②	
	2		

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点					
1	1	(1)	楽曲名	剣の舞	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
			作曲者名	ハチャトゥリャン						
		(2)	楽曲名	ハバネラ			内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6		
			作曲者名	ビゼー						
		(3)	楽曲名	結婚行進曲					内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6
			作曲者名	メンデルスゾーン						
	2	(1)	熱情的に		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6				
		(2)	brillante							
		(3)	歌うように							
		(4)	表情豊かに							
		(5)	荘厳に							
		(6)	おどけて							
	3	(1)	詩の各節が同じ旋律を繰り返すように作曲された歌曲。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
		(2)	詩の各節に新しい異なった旋律が付けられる歌曲。							
		(3)	内容的にも性格的にも相互に関連のあるいくつかの歌 曲が一定の順序で配列されて、全体でひとつの音楽的ま とまりをもっているもの。							
		(4)	4小節ずつの前楽節と後楽節でできている形式。							
		(5)	2つの部分（A、B）からなる形式。							
		(6)	3つの部分からなる形式。このうち、第1部と第3部は 同一、あるいは類似した性格をもつ。							
	4	(1)	(ウ)		各 2 × 3	5 4				
		(2)	(カ)							
		(3)	(ア)							

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号			正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	5	(1)	作品が作曲された当時の形状に復元された楽器のこと。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	3	6 1
		(2)	①	木製で、指孔を押さえて様々な高さの音を出す、横笛式 のフルート。	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 4	
			②	西洋梨を縦に割ったような共鳴胴と、そこから張り出 した棹をもつ、複弦の撥弦楽器。			
			③	ヴィオール属の中で最も低い音域をもつ弓で演奏する 楽器。フレットが付く。			
			④	16～18 世紀に最も栄えた鍵盤楽器。鍵盤をたたくと、 弦が爪で弾かれて音が出る仕組みになっている。			
		(3)	①	(ア)		各 2 × 3	
			②	(エ)			
			③	(カ)			
		6	※ 別紙 (計1枚)		問いを正しく捉えてい れば、内容は異なってい てよい。	4 0	
	2	1	旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受 したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表 現意図をもっている。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	5	

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
2	2	題材名（追分様式の表現に関心をもち、特徴を生かして歌おう）	題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	50	
		時間 1			学習活動 ○「南部牛追歌」の音の延ばし方や間の取り方に関心をもち。 ・地域の演奏家による「ソーラン節」、「南部牛追歌」の演奏を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・「南部牛追歌」の背景について教師の説明を聞く。 ・「南部牛追歌」について、楽譜を見ながら、地域の演奏家による演奏を聴いたり、地域の演奏家と一緒に歌ったりして、旋律の特徴を捉える。 ・捉えた特徴を全体で発表し合う。 ・発表し合った「南部牛追歌」の旋律の特徴を、実際に歌って確認する。 ・「南部牛追歌」の旋律について気付いた特徴をワークシートに書く。 ・地域の演奏家と一緒に体を動かしながら「南部牛追歌」を歌う。
		2			○第1時の学習を想起して「南部牛追歌」を歌う。 ・地域の演奏家と一緒に「南部牛追歌」を歌う。 ・前時に書いたワークシートを見て、「南部牛追歌」の旋律について気付いた特徴を想起し、再度体を動かしながら「南部牛追歌」を歌う。 ○「南部牛追歌」の旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・地域の演奏家による「ソーラン節」「南部牛追歌」を聴き比べたり、実際に歌い比べたりしながら、それぞれの音の延ばし方や間の取り方について気付いた特徴を発表し合う。 ・民謡の「南部牛追歌」の特徴を生かすための発音や節回しなどについて、他の生徒や地域の演奏家と歌い試しながら話し合う。 ・民謡の「南部牛追歌」の音の延ばし方や間の取り方が生み出す特質や雰囲気を生かしてどのように歌うかについての表現意図をワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを発表し合い、ペアやグループで歌い試しながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。
3	○創意工夫を生かして「南部牛追歌」を歌う。 ・第2時で取り組んだ歌唱表現の創意工夫を想起しながら、「南部牛追歌」を歌う。 ・地域の演奏家が提示するコブシ、発声法などを様々な試しながら「南部牛追歌」を歌う。 ・ペアやグループでどのように歌うかについての表現意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆する。 ・表現意図をもって「南部牛追歌」を歌う。 ・地域の演奏家と一緒に「南部牛追歌」を歌い、題材における学習を振り返ってワークシートに書く。				

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	創作表現を創意工夫する場面では、他者と関わりながら学習を進めることが効果的だと考えられる。例えば、つくっている音楽を表したいイメージに近づけていく過程で、互いの発想や見通しを伝え合ったり、つくっている音楽の構造とそこから生まれる特質や雰囲気との関わりについて確かめ合ったりすることで思考が深まっていくことがある。このように、指導のねらいや生徒の実態に応じて、適切にグループ活動を取り入れたり、作品を相互評価する場面を設けたりすることも有効である。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	5	11
	2	拍子を3拍子に変えたり、旋律に装飾的な音を加えたり、長調の旋律を短調に変えたりするなど、「きらきら星」の旋律を基にして、それに変化をもたせながら創作していくこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	6	
4	1	① 学校や地域の実態 ② アジア地域の諸民族		各 2 × 2	19
	2	雅楽、仏教音楽、琵琶楽、能楽、三味線音楽、箏曲、尺八音楽、神楽 など	5つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	各 3 × 5	

1

6

著作権保護の観点により、掲載いたしません。